

② 入試区分

編入学（Ⅲ期）

③ 出題科目

小論文

④ 出題の意図

総合政策学科のディプロマ・ポリシーである「地域に立脚した総合政策を立案・推進する手法の総合的、学際的な教授研究を行い、複眼的志向を持つ問題解決型の人材を養成する」ことに立脚し、他の学部および学科からの編入に際して、編入学生の現在の居住地域である徳島県・愛媛県に関する関心およびと将来の課題を「消滅可能性都市」というキーワードを用いて記述し、これからの総合政策学科の学びを通して自分なりの解決方法を模索する姿勢を問うための出題である。

2025年度 編入学Ⅲ期 総合政策学科 編入学試験問題

問題 人口減少問題への関心を高めるため、民間組織「人口戦略会議」は2024年4月24日、「消滅可能性」があると分析した16の自治体名を公表した。今回の報告書で「消滅可能性自治体」とされた徳島県の自治体は、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、勝浦町、佐那河内村、神山町、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町、上板町、つるぎ町、東みよし町です。愛媛県の自治体は宇和島市、八幡浜市、大洲市、四国中央市、西予市、上島町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町です。

①この報告書で指摘された徳島県または愛媛県の現状に関してあなたの考える事を書いてください。

②あなたが総合政策学科で「何を学び」その学びが①であなたが考えたことや徳島県または愛媛県の未来、自分の将来にどのように活かされるのかを書いてください。（字数制限なし 解答範囲が不足する場合には裏面に記入してください）